

霞 城 コ ン パ ス

進路情報 第24号 令和4年1月27日発行



■ 令和4年3月卒業予定者の進路希望・合格状況

1月26日現在

	I 部	II 部	III 部	合計	合格・内定
4 年制大学	5	0	0	5 < 5 >	3 (4)
短期大学	0	0	0	0 < 0 >	0 (0)
専門学校	8	4	3	15 < 14 >	14 (14)
就 職	7	11	4	22 < 22 >	19 (17)
そ の 他	1	2	2	5 < 5 >	
合 計	21	17	9	47 < 46 >	36 (35)

※()内は昨年度1月27日現在実績。< >は昨年度希望者数。

※大学入学共通テスト出願3名(昨年4名)

◆卒業年次のみなさんへ

【卒業式までの日程】

2月 1日(火)・8日(火)・15日(火) 登校日

※2月15日(火) 高校生のための社会人講座

(I II III部ともに12:50登校)

2月22日(火) 表彰式・同窓会入会式

3月 3日(木) 卒業式



卒業年次の皆さんは2月からは自由登校に入り、2月14日の卒業判定会議で卒業が認められれば、上記の通り卒業式まであと5日間しか登校しません。自分の自由な時間が大幅に増えることとなりますが、この期間の過ごし方、生活の仕方が卒業後の生活に大きく影響します。登校しなくてよいからと言って、朝遅くまで寝て夜遅くまでゲームするなど生活リズムが乱れたり、食生活が乱れたりすると、新生活が始まってから対応できなくなってしまうます。就職する人も進学する人も、ほとんどの人が朝早く起きて出勤・通学し、夕方に帰宅という生活になると思います。その生活が苦にならないよう、今の内からそれに合わせた生活を心がけましょう。ただでさえ新生活のスタートは環境の変化・人間関係の変化があり、誰でも多少なりともストレスになるものです。せっかくの自由な時間を有意義に使って、新生活のスムーズなスタートを切るための努力をして過ごしましょう。



就職希望でまだ進路が確定していない人もいますが、諦めずに就職活動を続けましょう。

◆次年度卒業年次のみなさんへ



SST5回目(次年度卒業年次対象)

2月4日(金)15:00~16:00

63教室(※年度当初の予定と変更)

次年度の進路目標達成に向けて大切なことを話していただきます。出ると言われたからという姿勢ではなく、次年度の自分の進路目標達成のための強い気持ちを持って、積極的な姿勢で参加してください。



◆しごとセミナー(1月21日)が行われました

次年度卒業予定者の就職希望者を対象に、今年度もコロナ禍の影響で、地区ごとに設定された会場ではなく、収録されたDVDを各学校で視聴するという形で行われました。対象者28名の内19名が参加しました。冬期就職セミナーを受講した後ということもあり、ほとんどの人が真剣な態度で参加し、メモを取りながらしっかり話を聞く姿勢が見られました。

セミナーの最初に、キーポイントは『自分で考えて、判断し、行動すること』とあり、その中でも『判断し』の理解が大切だと示されました。コロナ禍の社会の中で大切なこととして、「反応する」「時間を守る」の2点が挙げられていました。コロナ終息の見通しが見えない中で、一人一人、それぞれが考え、行動することが大切です。人生は『選択』の繰り返しです。これから始まる社会では、『できるか、できないか』ではなく、『やるか、やらないか』の決断が未来のチャンスにつながっていきます。

また、出会いの第一印象は『視覚』からの情報が87%を占め、しかも数秒で決まると言われます。どう見えるかが大事だということもここからきています。持ち時間はみんな同じ「24時間」ですが、その質は人によって変えられます。自分の「24時間」をスマホゲームに費やすか、情報を集めて自分を高めることに費やすか、自分次第です。

「進路の選択」は「人生の選択」につながります。進路選択において大切な3つの力は「学力」「精神力」「情報力」だそうです。これからの学校生活でこれらの力を鍛えていって欲しいと思います。

アンケートの一部を紹介します。(抜粋)

- ・今回のセミナーを通して、今まで自分が当たり前としてきたことや、自分では気づかなかったことが、今回の講話を聞いて感じることができました。「進路の選択」が「人生の選択」ということ、働く上で大切な「コミュニケーション能力」「主体性」に気をつけながら、これからの学校生活や将来に向けて役立てていきたいと思っています。
- ・荒生さんのお話の中で、「やるか、やらないか」の決断が未来のチャンスにつながっていくという言葉がありました。私自身、何かするときにとっても迷ってしまう性格なので、とても心に響きました。決断することがあったら、思い切って飛び込んでみるのは大事なことだなと感じました。
- ・セミナーの話は、就職してからではなく、日々の生活の中でもできる当たり前のことをおっしゃっていて、やっぱり当たり前のことを当たり前にするのは難しいけど大事なんだなと感じた。パネルディスカッションでは、就職するときのためになることをたくさん聞いてとても参考になった。
- ・自分で考え、判断し、行動することが大切であるとおっしゃっていたのが頭に残っています。インターネットを日常的に使用してきた私達だからこそできることを見つけて努力していくことが大切であると思いました。セミナーで教わったことをこれからの人生で役に立てていきたいと思っています。

◆大学・短大・看護医療系専門学校進学希望者のみなさんへ

次の生徒の大学・短大・看護医療系専門学校の学校推薦は認められません！

- ① 評定「1」がある人
- ② 不認定の科目がある人(単位を落とした科目、欠時数オーバー)
- ③ 欠席日数が多い人
- ④ 学校の指導に従わない人
- ⑤ 高2コース実力養成講座(後期)に未エントリー
- ⑥ 高2コース実力養成講座(後期)にエントリー済みでも、講習・外部模試を欠席、春課題未提出

なお、ガイダンス等でも何度も説明していますが、

上記④～⑥に該当する人は卒業年次の個別教科指導を受けることはできません。

